

～修学旅行のまとめ～

3K

①自主研修・ほしばん絵ろうそく店

私たちは、自主研修で、ほしばん絵ろうそく店に行きました。ほしばん絵ろうそく店では、絵付けをしやすくするため、手にろうをぬって、凹凸を無くします。これが、代々受けついできた作り方だそうです。

②自主研修・会津若松市役所観光課

自主研修では、まちづくりについて調べるため、市役所の観光課に行きました。会津若松市では、観光をメインとしたまちづくりをしていて、『あかべこ券』という地域商品券を作り、観光の活性化を図っているそうです。又、街並みの統一化を目指しているそうです。



↑ほしばん絵ろうそく店



↑街並みの統一化

③会津藩校日新館

日新館は、江戸時代の藩校の中でもとても大きく、当時としては最先端の授業を行っていました。白虎隊の少年たちもこの学校で勉強しました。また、日新館には、『什の掟』というきまりがありました。



↑日新館でお辞儀をしている様子

什の掟

- 一つ、年長者の言うことに背いてはなりません
 - 二つ、年長者にはお辞儀をしなければなりません
 - 三つ、嘘言を言うことはなりません
 - 四つ、卑怯な振る舞いをしてはなりません
 - 五つ、弱いものをいじめてはなりません
 - 六つ、戸外で物を食べてはなりません
 - 七つ、戸外で婦人と言葉を交えてはなりません
- ならぬことならぬものです

↑日新館の什の掟※

※ネットからの引用

まとめ

修学旅行では、会津若松の歴史的な建物や、文化について学ぶことができました。また、実際にふるさとからはなれてみて、この唐桑の良さ・自然の豊かさ・唐桑と他の地域とのちがいなどを改めて実感しました。私は、修学旅行で、会津の人々の温かさにおどろきました。会津若松は、『また行きたい』と思ってもらえるような工夫をたくさんしていました。会津若松のまちづくりの仕方を、唐桑に生かして、よりよい唐桑を作っていきたいです。